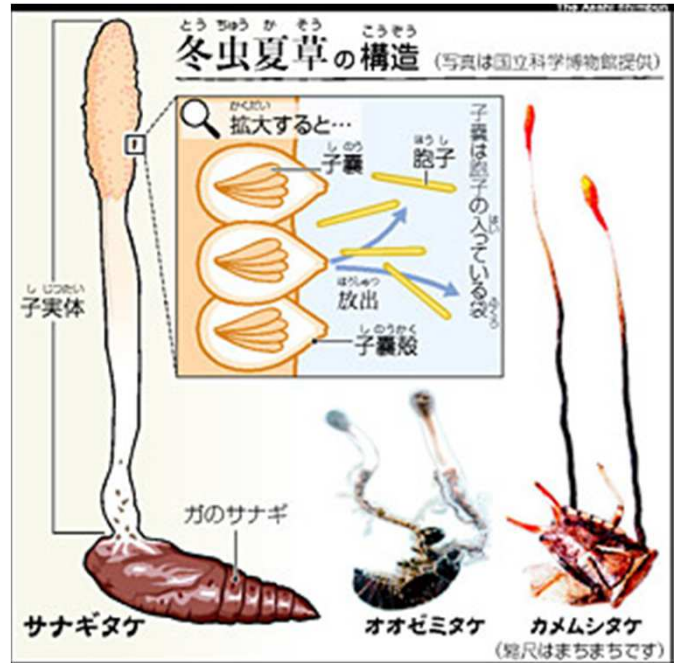




(朝日新聞社発行 2月3日付 b e)

冬虫夏草ってなんだろう？

埼玉県・大橋歩美さん(中3)からの質問



◇ののちゃん ふしぎな写真を図鑑で見つけたよ。虫の体から草がはえてるの。

◆藤原先生 冬虫夏草ね。昔の中国で「冬には虫の姿をしていて、夏には草の姿をしている」と考えられ、そうよばれるようになったらしいわ。

◇ののちゃん ええ一つ、虫と草の両方(なんてヘンだよ)。

◆先生 実は、昆虫も草でもなくて、昆虫の体にすみついた菌類なの。キノコやカビのなかまね。冬虫夏草の胞子が昆虫の体につくと、胞子から体内に菌糸がのびて昆虫を殺してしまうの。やがて菌糸は種から芽が出るように体の外に出てきて、子実体(になるわ。するとまた胞子が飛んで、ほかの昆虫にすみついて増)えていくのよ。

◇ののちゃん どんな虫に、つくのかなあ。

◆先生 セミやアリ、ハチ、トンボ、ガの幼虫なんかはもちろん、昆虫じゃないクモやキノコにもすみつくわ。冬虫夏草の種類ごとにすみつく相手もちがっているのよ。

◇ののちゃん どのくらいの種類があるの？

◆先生 もととは、中国で漢方薬として珍重される1種類の菌類だけを指していたの。いまでは、同(じょう)に昆虫にすみつくいくつかの菌類も冬虫夏草とよぶことが多いわ。ざっと500種類もあって、まだ知られていないものもあるみたいよ。これからも、新種が見つかるかもしれないわね。

◇ののちゃん おかしいなあ。そんなにたくさん種類があるのに、いままで一度も実物を見たことないよ。

◆先生 子実体が地面や腐った木の表面顔を出してないかを手がかりに探すの。夏に湿った森の中で見つかりやすいみたいね。子実体が針のように細くて小さいものもあるから、専門家でも1日に数個しか見つけられないことがあるんだって。

◇ののちゃん 見つけたら先生(に見せてあげるね)。

◆先生 冬虫夏草の根元には死んだ昆虫が埋まっているから、引っこ抜かず(に)にそ(う)と掘り進めてね。冬虫夏草の長さは、数ミリから長いと数十センチもあって、ていねいに掘らないと切れちゃうのよ。

◇ののちゃん 先生はさっき、漢方薬になるって教えてくれたけど、ほかになにか役にたっていることあるの？

◆先生 ほかに人から臓器をもら(う)移植手術を受けた人は、拒絶反応を防ぐために**免疫抑制剤**という薬を使うの。そうした薬の成分の中には、**冬虫夏草から見つかった物質**もあるのよ。新しい薬ができないか、冬虫夏草の成分をくわしく調べている専門家がいるそうよ。

◇ののちゃん へえ一、**病気の治療に役だつなんてすごい**。

◆先生 人間けじゃなくて、ブナ(の)林も助けられているわ。ブナ林ではときどきブナアオシャチホコというガの仲間が大発生するの。ほう(う)っておけばガの幼虫に葉を食べられてブナが枯れる心配もあるけれど、サナギタケという冬虫夏草がとりついてガのさなぎを死なせてくれるおかげで、大発生が終わることがわかってきたんだって。

(取材協力=国立科学博物館研究主幹・細矢剛さん、森林総合研究所九州支所チーム長・佐藤大樹さん、構成=米山正寛)